

ホームページって企業にとって大切ですよ!でも現実には更新がなかなかできないし...「本当に効果あるのかな?」と思いますよね?! ホームページの重要性を再認識して、効果的なサイトを創りましょう! 基本に立ち戻り、トレンドや用語も整理しながら、しっかりポイントを押さえます。



ホームページは、デジタル社会で企業が成長するための大切な道具です。しっかり運用・活用してお客様との関係を深め、会社の魅力を伝えることができれば良いですね!

「あらためて」になりますが!

ホームページの役割と重要性のポイント

ホームページは、企業がデジタル社会で成功するための大切な道具です。デジタル化が進む中で、ホームページを活用して顧客や社会、そして多くの人材との関係を深め、会社の魅力を伝えることがあらためて重要になってきています。

デジタル社会の企業の顔

ホームページは、会社の「顔」として、初めての人にも、どんな人にも「会社」のことを知ってもらうための大切な場所です。

お客様や社会、人材とインターネット上でつながる場所

いつでもどこからでも、見られるホームページがあれば、様々な人が会社に問い合わせたり、情報を得たり、訪問して下さったりすることができます。

宣伝とイメージアップ

ホームページを使って、会社の製品やサービスを紹介したり、会社のイメージを良くしたりできます。

最新情報や自社の取り組み、想いの発信

製品やサービスについて詳しく発信することは当然できますし、自社の取り組みや想いを多くの人に届けることができます。

競争優位性の強化

ホームページを使って、オンラインでの販売や予約を受け付けることで、他の会社と差をつけることができます。動画やコンテンツも重要です。

データの活用

ホームページを通じて、お客さんがどんなことに興味を持っているかを知ることができます。それをもとにサービスを改善できます。

最近のホームページやWebに関する用語も良く分からないものが多いですよ?!

良く見かける言葉を整理してみました。「知っているよ!」という基本的な用語の整理から、いまさら聞けない言葉まで挙げてみました。

- SEO(検索エンジン最適化)** ウェブサイトが検索エンジンの結果ページで上位に表示されるようにするための手法。
- レスポンシブデザイン** パソコン、タブレット、スマートフォンなど、異なるデバイスで見やすいようにデザインされたウェブサイト。
- CMS(コンテンツ管理システム)** ウェブウェブサイトのコンテンツを簡単に管理・更新できるシステム(例: WordPress)。
- SSL証明書** ウェブサイトとユーザー間の通信を暗号化し、データの安全性を確保するための証明書。
- UI(ユーザーインターフェース)** ユーザーがウェブサイト进行操作する際の見た目や使い勝手に関する部分。
- UX(ユーザーエクスペリエンス)** ユーザーがウェブサイトを利用する際の体験全体のこと。
- ランディングページ(LP)** 広告や検索結果から訪問者が最初にアクセスするページ。特定の目的(例: 購入、問い合わせ)に誘導するために作られる。
- コンバージョン** ウェブサイト上でユーザーが目標とする行動(例: 購入、問い合わせ)を完了すること。
- コンバージョン率(CVR)** 訪問者のうち、コンバージョンに至った割合。コンバージョン数を訪問者数で割った値。
- アクセス解析** ウェブサイトの訪問者数や行動を分析し、改善点を見つけるための手法。
- セッション** ユーザーがウェブサイトを訪れてから離れるまでの一連の行動。1回の訪問を指します。
- ページビュー(PV)** ウェブページが表示された回数。訪問者がページを開くたびにカウントされます。
- A/Bテスト** 2つの異なるバージョンのページを比較し、どちらがより効果的かをテストする手法。
- ヒートマップ** ウェブページ上でユーザーがどこをクリックしたか、どこを見たかを視覚的に示すツール。

せっかくのホームページ...でも更新の手間ヒマ、コスト、アップする内容やコンテンツを考えるのも大変...ですよ。とはいえ、放っておくと、逆効果?!チェックしてみてくださいね!

- 目的が不明確** チェックがつくと ホームページを作る目的がはっきりしていないと、何を伝えたいのかが曖昧になり、訪問者にとって価値のないものになってしまいます。
- 更新/アップデートがされていない** チェックがつくと 情報が古いままだと、むしろ価値を落としてしまいます。企業の評価が下がってしまうことも...お客様、仕入先、これから社会に出る学生さん...
- デザインが見にくい...美しくない** チェックがつくと 見た目がごちゃごちゃして、ナビゲーションがわかりにくいと、アクセス者がすぐに離れてしまいます。
- モバイル対応していない** チェックがつくと スマートフォンやタブレットで見にくいと、スマホユーザーはすぐ離れてしまいます。若い入社希望者は...?
- SEO対策が不十分** チェックがつくと 検索エンジンで上位に表示されないと、訪問者が増えません。適切なキーワード選びやコンテンツの最適化が必要です。
- コンテンツが魅力的でない** チェックがつくと 訪問者が求める情報がなく、内容が薄いと、興味を持ってもらえません。質の高いコンテンツが重要です。
- ターゲットが不明確** チェックがつくと 誰に向けて発信しているのかが不明確だと、メッセージがぼやけてしまいます。ターゲットを明確にすることが大切です。
- ユーザーエクスペリエンス(UX)が悪い** チェックがつくと ページの読み込みが遅かったり、リンクが切れていたりすると、訪問者の満足度が下がります。
- 分析と改善がされていない** チェックがつくと アクセス解析を行わず、訪問者の行動を把握していないと、改善点が見つかりません。
- 過剰な広告やポップアップ** チェックがつくと 広告が多すぎて、ポップアップが頻繁に表示されると、訪問者がストレスを感じて離れてしまいます。

ホームページの価値を最大化し、お客様との関係を強化し、人材採用や社内への好影響を実現するためには？

一番大切なことは、目的を明確することです。できるだけ具体的な目標を設定しましょう。

定期的にコンテンツを更新し、シンプルで使いやすいデザインを採用します。モバイル対応やSEO対策を行い、質の高いコンテンツを提供!誰に向けて情報を発信するのかを明確にし、訪問者が快適に利用できるようにします。アクセス解析を活用し改善を続け、広告も最適化してストレスを軽減しましょう。



でも簡単にはできませんよね?!少しでも簡易的になるようなツールをご紹介します。

WordPress

無料で使えるコンテンツ管理システム(CMS)です。初心者でも簡単にホームページを作成・更新でき、多くのプラグインを利用して機能を拡張できます。SEO対策やレスポンスデザインも簡単に実装可能です。

CMS(コンテンツ管理システム)とは？

CMS(コンテンツ管理システム)は、ホームページの内容を簡単に作成・更新・管理できるシステムです。専門的な知識がなくても、誰でも簡単に使えるのが特徴です。

ん??

WordPress?CMS?なにそれ?メリットは?デメリットはないの?



○CMSのメリット○

- 1 簡単に更新できる
CMSを使えば、ホームページの内容を簡単に更新できます。例えば、新しい商品を紹介したり、イベント情報を追加したりするのも、ワードやメールを書くような感覚でできます。
- 2 更新・修正費用のコスト削減
専門の業者に依頼しなくても、自社でホームページの更新ができるので、コストを大幅に削減できます。特に中小企業にとっては、大きな節約になります。
- 3 デザインの統一
CMSを使うと、ホームページ全体のデザインを統一することができます。これにより、訪問者にとって見やすく、使いやすいサイトになります。
- 4 SEO対策が簡単
CMSには、検索エンジンで上位に表示されやすくするための機能が組み込まれています。これにより、より多くの人にホームページを見てもらいやすくなります。
- 5 複数人での管理が可能
CMSを使えば、複数の担当者が同時にホームページを管理・更新できます。これにより、情報の更新がスムーズに行えます。

CMSを導入することで、ホームページの運営が格段に楽になります。中小企業にとって、コスト削減や効率化、信頼性の向上など、多くのメリットがあります。ぜひ、導入を検討してみてくださいね!

とは言え、デメリットがないわけではありません。

×CMSのデメリット×

- 1 デザインの自由度
テンプレートに依存するため、自由度の高いデザインを実現するのが難しい場合があります。
- 2 セキュリティリスク説明
オープンソース型のCMSは、サイバー攻撃の標的になりやすいため、常に最新のセキュリティ対策が必要です。
- 3 表示速度
プラグインやテーマの影響で、ページの表示速度が遅くなる場合があります。訪問者の離脱を防ぐために、最適化が必要です。
- 4 バックアップの必要性
ローカルデータが残らないため、定期的にバックアップを取る必要があります。
- 5 移行作業の手間
新しいCMSに移行する際、既存のページを移行する作業が必要で、手間がかかる場合があります。

まとめ

企業にとってホームページの運営を効率化し、コストを削減するための強力なツールです。しかし、デメリットも理解し、適切な対策を講じることが重要です。セキュリティ対策や定期的なバックアップを行い、最適なCMSを選ぶことで、ホームページの効果を最大限に引き出すことができます。

ホームページをしっかりと更新し、目的や伝え方、デザインを素晴らしいものにすることで、さまざまな効果が得られます。

◎お客様やステークホルダーに対して、どう変わる？

- 1 ブランドの印象を強くする
ホームページは会社の「顔」として、訪問者に与える第一印象を決めます。魅力的で分かりやすいデザインや情報は、会社の印象を良くし、信頼を高めます。
- 2 競争での優位性を高める
ホームページを使って他社と差をつけましょう。独自性があり、顧客に響く内容を提供することで、会社の魅力を伝え、選ばれる理由が明確になります。
- 3 お客様との関係を深める
ホームページでお客様が参加できる内容を取り入れ、交流を深めます。これにより、会社への親しみを感じてもらう、長く付き合える関係を築きます。
- 4 会社の価値を伝える
ホームページを通じて、会社の理念や目標をしっかりと伝えましょう。これにより、アクセスしてくれる方に会社の考え方を知ってもらい、好感を持ってもらいます。
- 5 ステークホルダーとの信頼関係
明確なホームページは、取引先や顧客などのステークホルダーに対して、会社の信頼性や長期的なビジョンを示すものとなります。これにより、強固な関係を築きやすくなります。

◎今働いている社員のみなさまやこれから働く人々に対してどう変わる？

- 1 モチベーションの向上
魅力的で常に更新されているホームページは、社員の誇りとなり、仕事へのモチベーションを高めます。自社の価値をしっかりと伝えることで、社員のやる気がアップします。
- 2 情報共有の効率化
ホームページを活用して社内情報を共有することで、情報の伝達がスムーズになります。これにより、業務の効率が向上し、組織全体の活力が高まります。
- 3 ビジョン/ミッション/バリューの明確化
ホームページを通じて、会社のビジョンやミッション、バリューを明確に伝えることで、社員の目標意識が高まり、共通の目的に向かって団結力が強化されます。
- 4 これから働く人へのアピール
パーパスをはっきりと伝えることで、会社の理念や方向性に共感する優秀な人材を引き寄せます。会社の目的や価値観に賛同する人材が集まりやすくなります。
- 5 一貫した情報の提供
ホームページを使って一貫した情報を提供することで、社内外的コミュニケーションがスムーズになります。これにより、誤解や混乱が減り、円滑なやり取りが可能になります。

ホームページをしっかりと更新し、目的や伝え方、デザインを素晴らしいものにすることで、お客様からの信頼を得て、社員のモチベーションを高めることが期待できますし、採用活動にも大きな効果をもたらします。
ホームページの運用次第で会社全体の成長と発展が期待できます

ぜひ当社にホームページ運用、最大価値化のご相談ください!

